

フロンティア

シクロケム

老化を防止して細胞を若々しく保つといわれ、数年前に爆発的なブームになった「コエンザイムQ10」。サプリメント用の補酵素として、相次いで商品が発売された。

その中で急速に売り上げを伸ばしたのが、シクロケムの栄養機能食品「ナノサプリ」である。

その秘密は、ぶどう糖分子が環状に連なった環状オリゴ糖のシクロデキストリン(CD)にある。直径は1ナノ(ナノは10億分の1)以下。バケツのような形をしていて、外側が水になじみ、内側は油になじむという特異な性質をもっている。

のを安定させたりと、いろいろなことが可能になる。「ナノサプリ」は「コエンザイムQ10」をCDで包み込むことで「コエンザイムQ10」の難点だった吸収性を高めたのが他の製品にない特徴だ。

寺尾啓二社長は大学卒業後、ドイツの化学メーカー、フッカーケミー社に勤務。同社から日本におけるCDの独占事業権を譲り受けて、2002年7月にシクロケムを設立した。「コエンザイムQ10

環状オリゴ糖応用し健康支援

の効用は幅広く、まだまだ可能性は大きい。もう一度、ブームを手がけたい」という。自社商品とOEM(相手先ブランドによる生産)供給の2

本立で事業展開をならむ。もちろん「コエンザイムQ10」はCDの応用分野のひとつ。現在、他の分野での応用展開を進めている。

これに対し、CDが主役の商品も発売した。「チユアブル ダイエット」「カルニチンプラス」は、脂肪など不要なものを取り込んで、

また、高配合のカテキン緑茶にもカテキン成分の包み込みに使われるなど、ここにきて用途は一段と広がりにあ



シクロデキストリンを応用した製品群

すでに健康補助食品として、ひざ関節の痛みに効く「スムーズUP」、疲労回復に効く「リポ酸」を商品化。中野クリニック(神戸市北区)の中野正人院長とタイアップし、さまざまな効用データを蓄積している。

これらの商品は、いわばCDが「脇役」の商品。吸収性を高めるなどの役目を果たすだけで、CDそのものが効用を発揮するわけではない。

体外に排出する機能をもたせたもので、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)対策に効果がある。

■ 会社概要

- ▷ 本社 神戸市中央区港島南町5の5の2 KIB C654号
- ☎ 078・302・7003
- ▷ 資本金 5000万円
- ▷ 社長 寺尾啓二氏
- ▷ 事業内容 シクロデキストリン(環状オリゴ糖)の応用商品開発